

様式3 令和6年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	「学校大好き！輝くひとみいっぱい 栗原小学校」 ～はぐくもう 栗原MIND～
	○元気な学校 ○明るく美しい学校 ○自信と力のつく学校 ○保護者・地域とともにある学校

学校名	新座市立栗原小学校
実施日	令和7年1月10日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
1	A	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招き、研修を行いたい。 ・先生方の積極的で意欲的な意識の高さで、学校が機能している。ICTの活用だけでなく、取り扱いの指導も行き届いて、児童も概ね大事に扱っていて、市内と比べて破損割合も低い。昨年度と比べて、時間外在籍時間は大きく減少しているが、タブレットを持ち帰り、在宅で業務をしている先生も増加している。 ・資料のデータ化、ペーパーレス化になるとよい。 ・保護者個々への連絡も電話・連絡帳だけでなく、C4Thで行えるように校内で統一できないか。 ・低学年での使用の難しさ。事例が知りたい。 ・校務分掌のバランスをとったり、主任の引継ぎがスムーズにできるように、管理職の先生方と現状や課題について、企画委員会または管理職面談で情報共有ができるとうよい。 ・ICTが苦手な教員もいるので、定期的な研修が必要である。 ・生成AI活用の研修を推進したい。(学年だよりのあいさつ等に活用させる) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全般的によく取り組んでいると見受けられる。教職員が問題点をよく理解している。アプリによるお便りの配信により働き方改革等が進んでいる一方で、お便りに目を通さなくなってしまう保護者がでてしまうことも考えていかねばならない。大事な連絡には、配慮が必要である。
2	A	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭や栄養士、体育主任、安全主任など各担当を中心に各種分野の研修をしっかりと実施し、先生方が真剣に取り組んでいる。安全面からの給食室側の門扉の開閉が気になっている。 ・緊急事態をどこまでとらえるか？いろいろな想定場面を挙げてその時どのように連絡対処するか？地震・火災・不審者以外の緊急事態を考えること。避難所になった場合は職員の役割。地震発生5以上で職員は可能な限り本校に集合するのか等よくわかっていないところがある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者の対応として、裏門の門扉の開閉について今後検討していく必要がある。一つの案として、門を二重(校内に門をもう一つ設置)にするのはどうか。

評価項目「学力向上」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
3	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを使う場面を考えて、効果的に活用し、尚且つ県学力学習状況調査の結果のとおり、学力向上の成果が上がっている。 ・WEB上の無料サイトで、キュビナのような、児童が自分で学習できるサイトの発掘と周知を推進したい。 ・研修を通して、活用事例を学べた。普段から使用している様子がわかる。自筆で考えを書くことも大事だと思う。 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTについては、有効的な活用が見られる。ICTの有効活用も必要なことであるが、低学年、特に小学校導入期の1年生には、不易たる話す、聴く、読み・書き・計算を自らの声や、自筆で繰り返し行い、基礎基本を全ての子どもに定着させることも大切なことである。栗原小が現在行っているように、書くことも大事にし、併用していくとよい。
4	A	<ul style="list-style-type: none"> ・TT指導、習熟度別指導をもっと取り入れて、個に応じた指導を行えるようにしたい。集団に埋もれて困っている児童がいるのを感じながらも具体的な対策を講じるのが難しい。 ・活き活きと児童が学習に取り組んでいる姿が見られる。様々な課題を持った児童も多数いて、個に応じた指導を行える場所と人員の確保が課題である。 ・「個別最適な学び」という視点で考えるとまだまだなのかなと感じる。 ・教具が古い。低位の児童には具体物が必要。 ・自由進度学習を取り入れたい。 ・支援員の手が足りていない。個別で対応する児童が増えている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室ココフレンドの活動アドバイザー(スタッフ)の勤務開始を早めることで、例えば低学年の給食の後始末、清掃、昼休み、5時間目の授業と一連の放課後に向かう時間帯に教育アシスタントとして活動するなどの工夫をしてみてもどうか。 ・具体物は、ICTの平面的なものより効果が大きい。順次揃えていく必要がある。

評価項目「豊かな心の育成」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
5	A	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの良いあいさつや態度が随所に見られ、来校者からの評判も良い。1年を通してみると後半、あいさつのトーンが下がってきている。要所要所で気持ちを高めていく工夫を行っていきたい。 ・挨拶はするが、目が合わない児童が多々見受けられる。 ・朝、挨拶できない児童が多い。高学年で気持ち良い挨拶ができていない子がいるので、ぜひ広めてほしい。中学年は、なかなか挨拶が返ってこない。 ・来校者へのあいさつは、よくできているように感じる。 ・交通指導員さんに感謝の気持ちを伝えるありがとう集会などを開いてもっと身近な存在と児童に認識させて、地域でのあいさつを活発化させる。 ・教職員から積極的に挨拶することが必要である。 ・あいさつが返ってこないことが多いと感じる。具体的な解決策は思いつかないが、一人ひとりがあいさつの必要性を感じられるようにしたい。 ・礼儀正しい行動の手本を意図的に見せている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶はよく行っていると感じる。学校運営協議会委員への挨拶はできている。学年によって挨拶の仕方は変わってよいと考える。元気でさわやかな挨拶、笑顔で会釈だけの挨拶、発達段階に応じて、あるいは個々の子どもによって、表現の仕方は多様であってよい。 ・大人の挨拶の様子や言葉遣いを見て、子どもはまねて学ぶ。大人のその様子が素敵だな、すごくいい感じだな等、子どもが感じることで学びになることを教職員は念頭におき、行動していくとよい。
6	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が率先して児童の良さに気付けるようにする。性善説で児童を見てあげる。 ・学校全体としては、運動会や音楽会等の行事の中でお互いの良さを認め合えるいい雰囲気である。個別に指導をする案件は、まだまだあるので地道に粘り強く続けていきたい。 ・言葉の乱れが見られる。良くない言葉や人格を傷つける言動をする児童に対して、適切に注意をしたり指導したりするが通じないことがある。すぐ手が出てしまう児童にはどう対処したらよいか悩むことがある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・あの子はこんな子であると決めつけるような見方は決してしてはいけない。どの子もよりよい自分になろうとする可能性を秘めた存在であることを教員も保護者も地域の方々も信じてあげることが大切である。 ・指導が難しい児童がいるということを保護者にも共有し、理解してもらう必要がある。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
7	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PUに本校の課題でもある俊敏性（反復横跳び）を高める運動を入れられるとよい。 ・全体としては行えていると思う。今年は、暑さで活動を制限する日が多く、影響があったと思われる。来年度は、体育館にクーラーが入ったことをうまく活用していきたい。 ・業間休みの遊びやパワーアップ等、大変充実している。 ・週1日でもいいから朝マラソンタイムを設けられないだろうか？ ・休み時間、外の活動が活発。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・（朝マラソンをしてはどうかという意見に対して、）安全上のことを十分に配慮しなくてはならない。朝の健康観察、起床時の体温等、事前の対応を十分行っただけで、職員の観察の目、AEDの準備等、実際の場においても緊急時に備えた体制が重要である。
8	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、給食試食会が復活した。給食は本校の魅力の1つなので、今後もアピールしていきたい。 ・季節や行事に関わる給食が出てくるし、栄養士が各クラスを回って説明してくれるので大変勉強になる。 ・食育の指導があまりされていない。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士が教室を回るというのは、食に関する意識を高めるのに大変有効な取組である。 ・他校と比べ、よく取り組んでいると思う。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
9	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA、学校応援団をはじめとして学校の環境整備にいつも快く関わっていただいている。今年度、地域の行事や防災において学校での広報に効果があり、児童と保護者の地域行事への参加が増加している。町会の活性化に学校が一役買うことができ、良い関係が作れていると考えられる。 ・習字が盛んな地域のように感じるので、硬筆や書初めの時に外部指導者としてきてほしい。 ・どんな要望、意見があったのか職員はあまり把握できていないように感じる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎内外の環境整備について、地域の方々の力がよく反映されている。 ・地域の活動が、進学先でも繋がっていると、保護者も安心すると思う。
10	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、ホームページの閲覧数が増加している。昨年度は月の閲覧数が700人ほどだったが今年度は月によっては1500人を超え2倍になっている。 ・全体・各学年の行事などその都度アップされている。 ・ホームページもICTツールの一つとして、利用方法を工夫してもいいのかなと思います。 ・PC補助員が大活躍している。 ・授業参観の日を増やしてもよいのではないかな。懇談会は増やさず、授業参観が終わったら保護者と一緒に下校してもらおうようにすれば負担はあまり大きくないと思う。 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子を知りたい保護者は多いと思われるため、授業参観を増やすことに関しては、学校事情を考慮しつつ、検討をしてもよいと思われる。